

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	協働による「御柱古道」整備事業
事業主体 (連絡先)	下諏訪町 (下諏訪町長 宮坂 徹) 産業振興課 観光係 0266-27-1111 (271) 担当 平出 海
事業区分	(5)環境保全、景観形成に関する事業 (3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	550,000円 (うち支援金: 366,000円)

事業内容

下諏訪町内にある諏訪大社下社御柱祭の山出し祭に使われた「御柱古道 (ふるみち)」と呼ばれる道を活用して、御柱文化を感じながら、トレッキングが気軽に楽しめる環境を整えることや、令和4年度の御柱祭に向けた地域の団結や機運を高めることを目的として、御柱古道を住民協働で整備することを計画した。

本事業を活用し、御柱古道を住民と協働で整備するとともに、崩落した木橋を修繕する予定であったが、8月14日からの豪雨の影響で、御柱古道に付近に大量の土砂が流出し、現場の安全確保及び木橋の修繕工事ができない状況となったことから、本事業を廃止することとした。

※総事業費 (55万円) の内訳は、修繕予定であった木橋の改修に係る測量・設計委託料である。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・御柱古道の改修に携わる人
実施日: 6月28日
内 容: 重点作業に向けた作業内容の確認
参加者: 15名
- ・御柱古道の重要性を考える機会の開催
実施日: 5月21日
内 容: 改修の具体的日時の選定、コース紹介の地図の作成 (看板に使われるもの)

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今回の整備計画では、地域住民が主体となり、御柱祭をはじめ日常においてもトレッキングコースとしても活用ができる整備を予定していたが、災害の影響により常時通行することが難しい状況となっている。町として、御柱古道の在り方を再度検討して、適切な整備を行っていく。

【作業内容の確認の様子 6月28日】



【目標】

- ①御柱古道の改修に携わる人
15人 (目標80人)
- ②御柱古道の問い合わせ件数
5回 (目標10件)
- ③御柱古道の重要性を考える機会
1回 (目標3回)

※自己評価 【C】

【理由】8月豪雨により、現場に土砂が流出した影響から、事業を廃止したため、事業効果は非常に限られたものとなった。令和4年度の御柱祭での活用を見据え、御柱古道の在り方と住民と協働で整備する方法を再度検討する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある